

自衛隊の 任務とは 何なのか

災害救助隊？ 軍隊？ 誰を守るの？

大きな自然災害のたびに、自衛隊の頼もしい姿がテレビで大きく報道されています。有難い存在だと評価される一方で、ふと、立ち止まって「本来の自衛隊の任務は？」と考える必要があるのではないのでしょうか？

安保関連法が成立し、防衛費が際限なく膨んでいます。2019年1月開会予定の通常国会で、安倍首相は憲法改正の発議を目指すことを明らかにしています。もし憲法9条に自衛隊が明記されたら、自衛隊にはどのような変化が起こるのでしょうか？

自衛隊の真実の姿を、元自衛隊員の井筒高雄さんにお話しいただきます。

講演：

井筒高雄さん

元陸自レンジャー隊員、ベテランズ・フォー・ピース・ジャパン (VFPJ) 共同代表。1969年生まれ。

88年陸自に入隊、91年レンジャー隊員。PKO法を機に93年依願退職。97年に大阪経済法科大学卒業後、加古川市議を経て、元自衛官の立場から戦争のリアル、コスト、PTSDなどリスクを伝える講演活動を行う。

共著に「安保法制の落とし穴」(ビジネス社)、単著に「自衛隊はみんなを愛している」(青志社)など。



2019

2/19 火

18:30開始
(開場18:00)

横浜市開港記念会館6号室 (110名)

JR、市営地下鉄関内駅下車10分、みなとみらい線日本大通り駅1番出口1分)

資料代：800円 (学生無料)

主催：ストップ秘密保護法かながわ 共催：時を見つめる会

連絡先：090-5433-6464 / 090-5822-6927

www.facebook.com/himikana/

himikana2016@gmail.com

<https://himikana.wordpress.com>

レンジャー隊員時代の井筒さん

